

吉井川近くの台地上にあった古代寺院  
美作国分寺跡

指定区分	国指定史跡
読みかた	みまさかこくぶんじあと
所在地	津山市国分寺
指定年月日	平成16年2月27日
解説	発掘調査により主要伽藍が判明し、遺構の残存状況は良好である。塔は基壇規模が一辺18mの巨大なものであったことも確認された。出土した軒瓦の文様は平城宮のものによく似ており、両者の関係が注目される。(追加指定:平成21年7月23日)
アクセス方法	JR東津山駅から約3km
公開状況	見学自由 [問い合わせ先]津山弥生の里文化財センター 0868-24-8413
設備	
備考	津山郷土博物館にて復元図を展示しています。

## きつずページ

していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	美作国分寺跡
よみかた	みまさかこくぶんじあと
しょざいち (所在地)	津山市国分寺
していつひ (指定した日)	平成16年2月27日
せつめい	今ではほとんど田んぼや畑(はたけ)ですが、発掘調査(はくつちようさ)をしたら、とてもりっぱな古代(こだい)のお寺(てら)があったことが分かりました。出てきた瓦(かわら)などから当時(とうじ)の美作(みまさか)がとても力(ちから)をもっていた国(くに)だったことが分かりました。